

## シグママフロンティアと三重化学工業で

## 障害者の職場見学会

三重県

【四日市】三重県は8日、

障害者就労支援事業「ステップアップ大学」を開催した。企業出張版として、人材派遣などを展開するシグマホールディングス(本社東京都)の特例子会社・シグマフロンティア松阪作業所(松阪市)と、同社の取引先である三重化学工業(本社松阪市)で障害者が働く職場を見学。企業や特別支援学校、障害者就労支援事業所の関係者ら26人が参加し、障害者が活躍する両社の取り組みを学んだ。

シグマフロンティア松阪作業所では自動車部品の検査や食品の箱詰めなどの業務を見学した。また、シグマフロンティアの障害者社員が三重化学工業の事業所



食品の箱詰め作業を見学する様子

に出向いて、首回りを冷やす冷感商品を検査・梱包(こんぼう)するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業も見学した。

シグマフロンティアでは現在、50人の障害者社員が働いており、今後も雇用を増やす方針という。BPO事業で取引する三重化学工業の山川大輔社長は「シグ

マフロンティアとは引き続き一緒に歩んでいきたい」と話していた。

ステップアップ大学は、企業や県民に障害者雇用への理解を深めてもらおうと2016年から実施している。今回で53回目。働く障害者の声を聞く機会を設けているほか、障害者が活躍する企業の見学会を行っている。